

# 令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和6年2月10日

学) あすなろ学園 あすなろ幼稚園

## 1. 本園の教育目標

安定した心を持ち、状況を広く深く受け止め、物事に意欲的に粘り強く取り組み、人間関係に幸福感を感じることが出来る体験を通して、子どもひとりひとりが、その人間力を高めていく。

- ・子どもの「意欲」を育てる
  - ・子どもの「人間関係の力」を育てる
  - ・子どもの「脳」と「からだ」を育てる
- いろいろな子どもたちが、それぞれの特徴を持って発達していくという個性を尊重しながら、脳の各部分の発達バランスや発達の順序性を考慮しながら、1人1人の対応をしていくようにする。

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ①自分のまわりの、ヒト、モノ、コトに関心を持ち、自分で考えたことを自分の言葉であらわしたり、行動したり、表現したりする。
- ②教師は、子どもたちの成長につながる質の高い生活を提供する。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
①	ヒト・モノ・コトを一人一人の子が、自分自身の事として受けとめられたか。	A	・「子どもに寄り添う」と「子どもと向き合う」ことが、子どもの個々の発達や場面状況によって、適切に使い分けることができた。
②	子どもが、生活の中で生きがいを感じながら活動ができていたか。	A	・生活の中で、どうしてそれをすることが価値のあることなのかを子どもが共感できるような対応をすることができていた。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

## 4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	教師それぞれが、その子に寄り添う役と、向き合う役を臨機応変に担当して、子どもが深く考えたり広く物事をとらえられるように対応できたと思う。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

## 5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	多彩な環境に触れる	・地域の自然に触れる、公的な施設に積極的に出向き、豊かな体験をすること。
2	保護者対応	・いろいろな課題を抱えている保護者の対応に時間をかけ、保護者の学びの質を高められるようにする。

## 6. 学校関係者評価委員会の評価

Instagram等で子どもたちの園での様子を見ると、充実した園生活が営まれていると感じる。また、今年度より保護者による園児の送迎を行っているが、その際、担任などから話を聴けたりすることが、より保護者と教師の意思の疎通に役立っているようだ。来年度はさらに、保護者を力強く支えていくことを課題にしていることに、期待をしている。